

ド・モアブルの定理

n が整数のとき $(\cos \theta + i \sin \theta)^n = \cos n \theta + i \sin n \theta$

証明

等式「 $(\cos \theta + i \sin \theta)^n = \cos n \theta + i \sin n \theta$ 」を①とする。

0 の極形式は考えないので、 $\cos \theta + i \sin \theta \neq 0$ である。

(i) n が自然数のとき

[1] $n=1$ のとき

(①の左辺) = $\cos \theta + i \sin \theta$, (①の右辺) = $\cos \theta + i \sin \theta$ よって、 $n=1$ のとき、①は成り立つ。

[2] $n=k$ のとき、①が成り立つと仮定すると $(\cos \theta + i \sin \theta)^k = \cos k \theta + i \sin k \theta$ ……②

$n=k+1$ のときを考えると、②から

$$\begin{aligned} (\cos \theta + i \sin \theta)^{k+1} &= (\cos \theta + i \sin \theta)^k (\cos \theta + i \sin \theta) = (\cos k \theta + i \sin k \theta) (\cos \theta + i \sin \theta) \\ &= \cos k \theta \cos \theta + i \cos k \theta \sin \theta + i \sin k \theta \cos \theta + i^2 \sin k \theta \sin \theta \\ &= (\cos k \theta \cos \theta - \sin k \theta \sin \theta) + i (\sin k \theta \cos \theta + \cos k \theta \sin \theta) \end{aligned}$$

三角関数の加法定理 $\cos(\alpha + \beta) = \cos \alpha \cos \beta - \sin \alpha \sin \beta$

$$\sin(\alpha + \beta) = \sin \alpha \cos \beta + \cos \alpha \sin \beta$$

を適用すると $(\cos \theta + i \sin \theta)^{k+1} = \cos(k \theta + \theta) + i \sin(k \theta + \theta) = \cos(k+1) \theta + i \sin(k+1) \theta$

よって、 $n=k+1$ のときも①が成り立つ。

[1], [2]から、すべての自然数 n について、①は成り立つ。

(ii) $n=0$ のとき

(①の左辺) = 1, (①の右辺) = $\cos 0 + i \sin 0 = 1$ よって、 $n=0$ のときも①は成り立つ。

(iii) n が負の整数のとき

$m = -n$ とおくと、 m は自然数である。

$$(\text{①の左辺}) = (\cos \theta + i \sin \theta)^n = (\cos \theta + i \sin \theta)^{-m} = \frac{1}{(\cos \theta + i \sin \theta)^m}$$

(i)より、自然数 m について、 $(\cos \theta + i \sin \theta)^m = \cos m \theta + i \sin m \theta$ が成り立つから

$$(\text{①の左辺}) = \frac{1}{\cos m \theta + i \sin m \theta}$$

$$\begin{aligned} \text{これから } (\text{①の左辺}) &= \frac{(\cos m \theta - i \sin m \theta)}{(\cos m \theta + i \sin m \theta)(\cos m \theta - i \sin m \theta)} \\ &= \frac{\cos m \theta - i \sin m \theta}{\cos^2 m \theta - i^2 \sin^2 m \theta} = \frac{\cos(-m \theta) + i \sin(-m \theta)}{\cos^2 m \theta + \sin^2 m \theta} \\ &= \cos(-m \theta) + i \sin(-m \theta) = \cos n \theta + i \sin n \theta = (\text{①の右辺}) \end{aligned}$$

よって、 n が負の整数のときも①は成り立つ。

(i)~(iii)から、 n が整数のとき、①は成り立つ。

ポイント

n が自然数のときを数学的帰納法を利用して証明する。 $n=0$ のときは自明であるので、自然数のときをもとに n が負の整数のときも成り立つことを証明すればよい。